

交通安全対策等の推進

ビッグデータの活用等により、効率的に事故ゼロプランを推進するとともに、道路の防災性の向上、良好な景観形成や観光振興の観点から無電柱化を推進します。

「事故ゼロプラン」の取り組み

●事故原因に即した効果の高い対策を立案・実施



【ビッグデータの活用】



【現地合同点検状況】

●左折車両と直進車両を分離する左折車線設置の例



【対策前】



【対策後】

「無電柱化」の推進

●現状の課題



景観の阻害

●整備イメージ



整備前



整備後

●整備区間の例



整備前



整備後

写真：一般国道36号札幌市豊平区

国道274号日勝峠の復旧

- 平成28年8月の台風による被災で約40kmが通行止め中であり、平成29年秋頃の解除を目標に復旧作業を進めています。
- 被災した国道と並行する区間で道東自動車道の代替路(無料)措置を、占冠IC～十勝清水IC間で実施しています。(平成28年度末時点)



復旧状況

【千呂露橋落橋】



【仮橋架設完了】

【三国の沢覆道損傷】



【覆道下部工撤去作業】

【帯広側8号目付近盛土崩壊】



【工事用道路施工】

高速道路ナンバリング

■高速道路ナンバリングの目的

- 北海道内の高速道路ネットワークで、路線名に併せて路線番号を用いて案内する「ナンバリング」を導入することで、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい案内を行います。(平成29年3月19日開通の旭川・紋別自動車道 丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀨IC間に北海道で初めてナンバリング標識を設置)

■高速道路ナンバリングの対象路線

- 高規格幹線道路網(「高速自動車国道」および「一般国道自動車専用道」)とこの道路網を補完して地域の高速道路ネットワークを形成する路線
- 高規格幹線道路網から主要な空港・港湾、観光地へのアクセスとなる高速道路ネットワークを形成する路線



高速道路ナンバリング北海道図

